



国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部

出前講座

News Letter

2024

川の環境学習会 in 湧別川（湧別町立ゆうべつ学園）

水生生物調査 & 魚類調査 実施レポート

◆開催概要◆

令和6年7月19日（金）に、湧別町内を流れる湧別川^{かいせいとうしゅうこう}の開盛頭首工下流で、湧別町立ゆうべつ学園4年生19名を対象に「川の環境学習会」を開催しました。本学習会は「ゆうべつアウトドアクラブ YU-PAL」と協働で実施しました。

学習会では、川で遊ぶ際の危険回避方法を学ぶ「川の安全講習会」、川に生息している水生生物から水質を判定する「水生生物調査」、川の魚を観察・採捕する「魚類調査」を実施しました。



開催場所：湧別川 開盛頭首工下流

◆実施内容◆

「川の安全講習会」では、川に近づく時の注意点や川の危ない場所について学習。“1人では川に行かない”“川に流された人がいたら助けを呼ぶ”といったことを学びました。



川に流されたらどうする？
対処のしかたを学びました

ライフジャケットを正しく着用した後は、いよいよ川に入り「水生生物調査」です。児童たちは川底の石を手に取り、石にくっついて生物を観察しました。また、バットにあげた石からピンセットで生物を種類ごとに取り分けました。その結果、シマトビケラ・ヒゲナガカワトビケラ・マダラカゲロウなどが多く見られ、この調査地点の水質が比較的良好であることがわかりました。

次は「魚類調査」です。まずは、事前にスタッフが

捕ったウグイ・ヤマメ・フクドジョウ・ウキゴリなどをタライで観察しました。その後、児童たちが実際にタモ網を持って川に入り、魚とりに挑戦。自由に魚を狙ったり、みんなでタモ網を並べて上流から魚を追い立てたりしました。フクドジョウを捕る児童もいました。

岸に戻った後はネイチャーゲーム「カモフラージュ」を行いました。これは、20mのロープを地面に置いてコースを作り、その周辺の地面や草木に置かれたおもちゃなどの人工物の数を数え、観察力や集中力を高めるゲームです。人工物の中には周囲の草木に紛れて探しにくいものもあり、地面に置いてあったカエルはなかなか探せなかったようでした。

最後に笑顔で記念撮影。児童たちにとって貴重な体験ができた学習会となりました。



水生生物がいそうな石を
探します



川の石には
どんな水生生物がいるかな？



タライの魚たちに夢中！



タモ網を並べて
上流から魚を追い立てます



不自然な“マスカット”を発見！
ネイチャーゲームを楽しみました



湧別川をバックにハイチーズ！

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記URLをご参照ください。

北海道開発局 網走開発建設部ホームページ【出前講座】

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/kouhou/v6dkjr0000001vpn.html>

網走開発建設部 出前講座



スマートフォンは
こちらから